

総動員伝道

総動員伝道の目標

1. すべての人に福音を伝えよう。
2. すべてのクリスチャンがよいあかし人になろう。
3. すべての教会が成長しよう。

韓国宣教師を迎える

総動員伝道 委員 中島 秀一



気づいており嬉しく思っています。

「あなたがたが一つの霊によって堅く立ち、一つ心になって福音の信仰のために力を合わせて戦い」(ピリピ一・27)。

私たちの教会は昨年の4月に韓国から若い牧師夫妻(幼児2人)を協力宣教師として迎えました。すでに2人とも東京の日本語学校で2年間学んでおりましたので会話には全く不自由はありません。この4月から2年目を迎えて本格的な活動が始まり、毎日忙しい日を送っております。教会員は何らの違和感もなく交わりができています。昨今のヨソ様ブームのお陰かも知れません。教会には新しい風が吹いてきたようで、いつになく活

気づいており嬉しく思っています。私は常日頃から日本宣教の不振の壁を破るためには、韓国教会との宣教協力が不可欠であると考えてきました。これまでわが国と韓国は「近くて遠い国」と言われてきましたが、遠いアメリカやヨーロッパから見れば、顔も背格好もよく似ていて見分けが付きません。確かに両国にはいろいろの違いはありますが、言語や文化などにおいてはよく似たところがあるのも事実です。この際わが国の宣教の前進のために、キリスト教においては先進国である韓国の助けを積極的に受け入れることにおいてやぶさかであってはならないと考えます。

た。ある人々は姉妹教会という形で交流しておられます。それらの1つ1つにはそれなりの意味と効果があることは確かです。しかしわが国の教会成長、宣教拡張という点では真の力を発揮したとは言えないのではないでしょうか。

それでは韓国から宣教師を迎えれば万事がうまく行くかと言つとそうではありません。むしろ反対に難しい問題が生じていることも事実です。私たちの教会も決して例外ではありません。それだけに再度韓国から宣教師を迎えるに際しては否応なしに慎重にならざるを得ません。そこで私は、第1に日本文化を大切に、第2は牧師と良い協力関係を結ぶ、第3は教会を形成する、と言つ3つの条件を立てて祈りました。神はその祈りに見事に応えて下さいました。

宣教師は週2日はハンダグ講座、1日は学び会、夫人は週1日はハンドベル教室、その他は通常の教会行事に協力してあります。新しい日韓協力宣教がわが国における新しい宣教活動のモデルケースとなることを望んでいます。

今日まで私は韓国国際福音伝道会(超教派)、大韓イエス教長老会(統合派)、日韓親善宣教協力会を通して韓国教会と関わりを持ってきました。その間会議や礼拝や聖会などにおいて、更には個人的なレベルにおいて友好を深めてきまし

伝道アラカルム

(1)

ジャパン・カルバリー・クルセード
福澤 満雄

旅日華人

先日、東京の淀橋教会で開かれた、「唐崇栄福音音楽宣教大会」に参加しました。その時講壇の上の垂れ幕に「旅日華人音楽宣教大会」と書いてありました。私は隣に座っていた通訳の方に、「旅日華人」とは、どの

ような意味ですか、と尋ねました。するとその方は「旅日とは日本に滞在している、と言う意味です」と言われました。そこで私は、「じゃ、在日と言う意味です」と言いましたら、その方は「いいえ違います。私たち民族はどこに住んでも、たとえ日本で生まれても、日本国籍があっても、在日華人とは言いません。旅日華人と呼ぶのです。どこに住み、どこで生まれても、自分の国以外のところでは、旅人なのです。私たちは、華人である事を誇りにしています」と答えてくださいました。

そのとき「はるかにそれを見て喜び迎え、地上では旅人であ

り寄留者であることを告白していたのです。かれらはこのように言うことによって、自分の故郷を求めていることを示しています。……しかし、事実、彼らは、さらにすぐれた故郷、すなわち天の故郷にあこがれていたのです」（ヘブル11：13～16）。「私たちの国籍は天にあります」（ピリピ3：20）の御言葉が心の中に湧き上がってきました。

そうなんだ、私たちクリスチャンは、「旅日天人」だという誇りを持って、もっと胸を張って生きようと、チャレンジを受けました。

伝道メモ 60



先日、宣教師から、日本伝道の困難さの根底に「儒教」があるのではないかという発言があった。仏教よりもさらに昔から日本人の精神構造に組み込まれている思想だろう。そのことを友人に話すと、それはその通りではないかという。と言うのは、日本人は「赦し」の思想が乏しい、それは「儒教」によると言うのである。「うらみつらみは子々孫々まで」と言う思いは「儒教」から来ていると言う。親の敵（かたき）を子が、孫が、というわけである。

イエスによる「赦し」は真っ向から受け止められない。そんなに簡単に他人を赦してはいけない。いや「赦せない」。この儒教的な思想が、日本人の頑なな心を形成しているので、キリスト教は受け入れられないのだと言う。自分の過ちは美化し、他人から被った傷はいつまでも怨恨として心に刻み付けている。

小泉首相の「靖国神社参拜」もその根底にあるのは、この思想だろう。第2次大戦を美化し、敗戦によって押し付けられた「憲法制定」を怨念のように思っている。ここにきて「愛国心」を強調し、「憲法改定」を叫ぶのもそのせいかもしれない。宣教師は肌でこのことを感じておられたのだろうか。

道端や石地に蒔かれた種は育たないと主イエスは言われた。まさに日本人の心は道端や石地の状態だろう。伝道の前に「開墾」が必要だ。

よく耕された土地に蒔かれた種は30倍、60倍、100倍の実を結ぶとある。種まき伝道の前に、開墾伝道が必要だろう。

(姫井雅夫)

医療法人社団 誠志会

誠志会病院

看護師募集中

院長 岡田信良

〒174-0043 東京都板橋区
坂下1-40-2

TEL 03-3968-2621

◆シリーズ 21世紀の宣教ビジョン 日本基督教団

日本基督教団総会議長 山北宣久

日本基督教団は30年以上にわたっていわゆる「紛争」を経験してきている。大阪万博キリスト教館出展を契機として、国家と教会の在り方をめぐって激しく議論が起こった。

しかも議論だけでなく、激しい物理的暴力も加えられ組織的に混乱が続いた。

この間、様々な問題が生じたのであるが、その中に「伝道不振」があった。西洋植民地主義的色彩の強いイメージを持つ「伝道」は死語とされ、人間中心主義的な「共生」が前面に出て、差別撤廃、天皇制反対、反戦平和といった課題への取り組みが「宣教」の多様性ということで優先されてきた。

しかも福音に基づいてそれらに関わるというより、特定のイデオロギーに基づいての取り組み、推進であっただけに混乱にさらに輪をかけたと思われる。

アチーブメント株式会社

選択理論に基づいた、
人材教育を試みる会社です。

代表取締役社長 青木仁志

〒141-0022 東京都品川区東五反田
4-6-6 高輪台グリーンビル3F
TEL 03-3445-0311(代)

伝道の復権

そんな中で当然のことながら教勢は低下していった。現在信徒総数は20万人、現住陪餐会員10万人、礼拝出席5万人という数字にとどまっている。受洗者はここ10年間で2千人を越えたのはただの2回である。

日本基督教団は教会である。教団となっているが英語ではUnited Church of Christ in JapanであってChurch教会である。

教会である以上、使命は伝道にある。教えること、癒すこと、仕えることとしての宗教の拡がりには勿論大切である。しかし宣教の広さを大切にしつつも、福音を宣べ伝える伝道を第一にしてこそ教会は教会となる。

伝道する教団を形成するためまず伝道の復権を果たしていかなければならない。

伝道協力

21世紀に教団は伝道に、また青年伝道の使命に全力を注ぐことを2回の教団総会において決議した。爾来、伝道のうねりを作るべく祈りと努力が重ねられている。霊的覚醒をもって救霊に向かっていく教団、各個教会でありたいと願っているが、それには他教派の兄弟姉妹との協力がとても大切であると思っている。

伝道協力によって開かれた教団形成をなすこととしたい。この点「総動員伝道」に連なる各教派との出会いと交わり、また

具体的伝道協力が与えられるよう願ってやまない。

伝道実践

以下、主題について考えていることを列挙したい。

- ・青年伝道大会をアジアの諸国とともに開催する。
- ・50年間続いた日北米宣教協力が新しい段階に入ったが、次世代対応型で宣教プログラムを立案・実践する
- ・憲法9条を堅持し、平和国家形成のために尽力する
- ・IT化のメリットを教会・教団形成に資する。
- ・教勢低下に歯止めをかける。
- ・高齢者伝道、児童、青少年、青年の伝道に取り組む。
- ・心の病に陥った教職の避難所あるいはハビリ施設のような場を設け対応する。
- ・教職、牧師不足に鑑みて献身運動をなしていく。
- ・適切な人事斡旋を教団としてなす体制をとる。
- ・引退牧師、無任所牧師の活用、さらに女性牧師による伝道牧会の範囲を拡げていく。
- ・財政の適正化、透明化を高めて出来るだけ伝道のために献金を用いていく。
- ・伝道に資する出版物、視聴覚教材を教団として発行していく。

暗い現実の中、福音のもたらす光にめぐり照らされ明るい教団を形成していきたい。

献金にご協力を

総伝が深く関わった第5回首都
圏キリスト教大会も無事神のご栄
光を拝する大会として終えること
ができ、総伝の存在感を再認識し、
日本の教会の姿勢を内向から外向
にチェンジし、99%の闇の中に置
かれていた同胞を光の下に導くた
めに積極的な総伝を展開してい
くべき使命を論じました。

特に今回のような伝道大会を数
年おきに行ない多くの求道者を各
教会に届ける事の必要を教えられ、
そのため総伝の働きが期待されて
いる事を悟りました。

そのためには多くの活動資金が
必要になっております。
総伝の働きを支える献金にご協
力をお願い致します。

この夏には例年のように三重県下
でのトラクト配布に加え、千葉県地
区、埼玉南地区の総伝計画など多く
の資金が必要ですので宜しくご協
力のことをお願い申し上げます。

『必ず、わたしはあなたがたのた
めに天の窓を開き、祝福を限りな
く注ぐであろう』(マラキ三・10)。

塩島光三

三重県鈴鹿市トラクト配布

◆期日：7月24日(月)～28日(金)

協力教会：鈴鹿教会 (滝口洋子牧師)



- ・必要経費 25万円(EHCトラクト代、レンタカー代、食事、交通費等)
 - ・配布戸数 5千軒(韓国からのボランティアを含め、総勢10名近くで配布予定！)
- ◎トラクトが用いられ、必要経費が満たされるよう、皆様の祈りとご協力をお願いします。



共謀罪〜いま国会で

今国会に継続審議であった「共謀罪新設法案」が上程された。共謀罪とは、実行行為のない段階で、犯罪の合意がなされたと言うだけで、619もの犯罪について処罰を可能にする法案である。日本ペンクラブは、「治安維持法」に代わるものとし、日本弁護士連合会は、「思想・信条の自由、表現の自由、集会・結社の自由などに対する重大な脅威となる」と強く警告している。キリスト者にとって他人事ではない。教育基本法改正案もある。最新案には、「公共の精神を尊び」「伝統と文化を尊重し」「我が国を愛する態度を養う」とある。いわゆる「愛国心」論である。キリスト者にとって究極的に誰を愛し、どこに帰属するのかという課題がある。憲法改正の動きもある。それ以前に「国民投票法案」の問題がある。

いまこの国、市民、そしてキリスト者の行方にとって重要な法案が目白押しである。みことばに教えられつつ、1つひとつに知恵深く対応して行きたい。住吉英治

3月会計

収入	285,000
活動費	79,923
印刷・発送	133,817
部屋代	195,847
リース	13,230
積立	10,000
支出計	432,817
累計	-258,187

●ご支援、感謝いたします。
東京イースターのつどいも主の恵みのうちに終了しました。730名ぐらいの参加者でした。次は首都圏キリスト教大会です。なんとかして多くの人々に主の救いを知っていただきたいと祈っています。

〈総動員伝道の組織〉
代表・姫井雅夫
委員・有賀喜一、福澤満雄、中島秀一、北條和人、安藤能成、住吉英治、鈴木留蔵、岡田信良、多胡元喜、塩島光三、クレイグ・カックス、浅見鶴蔵、姜 星光
顧問・羽鳥 明
相談役・小助川次雄、村上宣道

2006年6月1日発行
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1
OCC、614号室

総動員伝道
TEL 03-3291-5035
FAX 03-3291-5266
Eメール sodoin@ybb.ne.jp
ホームページ
http://www.gospeljapan.com/sodoin/

振替 00140-1-107255
代表 姫井 雅夫
編集 住吉 英治
定価 一部10円(送料別)
印刷 新生宣教団(2,500枚)